



平成 30 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 協 栄 産 業 株 式 会 社  
代 表 者 名 取 締 役 社 長 水 谷 廣 司  
(コード番号 6973 東証第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 村 本 篤  
常 務 執 行 役 員  
(TEL 03-3481-2111)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日)

##### (1) 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	55,000	300	200	100	32.80
今回修正予想 (B)	55,000	100	100	40	13.12
増減額 (B-A)	0	△200	△100	△60	-
増減率 (%)	0.0	△66.7	△50.0	△60.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	53,369	259	168	96	31.63
(ご参考) 前期実績比 (%)	103.1	38.6	59.4	41.5	-

当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

#### 2. 理由

通期の連結業績につきましては、売上高は、商事部門において、自動車関連、白物家電関連、産業機関連向けの半導体デバイスの需要の増加、ICT 部門における受託ソフト開発の増加もあり、製造部門の落ち込みをカバーして、公表値を達成する見込みであります。しかしながら、利益面においては、商事部門、ICT 部門は、期初見通し通りとなる見込みですが、製造部門においては、主力のアミューズメント向け基板の受注が、第 4 四半期においても回復をしなかったために予想を大きく下回ることとなり、利益額、利益率ともに減少する見込みです。また、アミューズメント市場においては、市況の回復が当面見込めないことならびに基板の再利用が増加傾向であることから、アミューズメント向け基板の在庫 141 百万円を処分し、製造原価に計上することといたしました。これにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、当初予想を下回る見通しとなりました。

なお、配当予想につきましては、前回発表の 1 株につき期末配当 30 円 (創立 70 周年記念配当 10 円含む) の予想に変更ございません。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上